

授業科目名・形態	障害者福祉論 I	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	柴田 博	開講期	1年後期	単位数	2

【授業の主題】

障害のある人の心理や身体機能及び環境に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の生活を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護サービスの視点を習得する。また、障害の概念や障害者福祉の基本理念を理解するとともに、障害が社会環境とのかかわりで生じることの基本的知識を学習する。

【到達目標】

- 1) 障害のある人の生活を支援するという観点から、障害の概念や、障害の特性に応じた制度の基礎的な知識を理解する。
- 2) 医学的・心理的側面から、障害による心身への影響や心理的な変化を理解する。
- 3) 障害のある人のライフステージや障害の特性を踏まえ、機能の変化が生活に及ぼす影響を理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1回 障害の概念、捉え方・・・ICF、ICIDH
- 第 2回 障害者福祉の基本理念・・・ノーマライゼーション
- 第 3回 障害者福祉の基本理念・・・リハビリテーション、インクルージョン等
- 第 4回 視覚障害、聴覚・言語障害のある人の生活
- 第 5回 肢体不自由（運動機能障害）のある人の生活
- 第 6回 内部障害のある人の生活
- 第 7回 知的障害のある人の生活
- 第 8回 精神障害のある人の生活
- 第 9回 高次脳機能障害のある人の生活
- 第 10回 発達障害のある人の生活
- 第 11回 重症心身障害のある人の生活
- 第 12回 難病のある人の生活
- 第 13回 障害のある人の心理、障害の受容
- 第 14回 家族への支援
- 第 15回 連携と協働・・・地域におけるサポート体制の確立に向けて

【授業実施方法】

講義

【授業準備】

テキストを中心とした予習を十分に行うこと。

【主な関連する科目】

「障害者福祉論Ⅱ」

【教科書等】

介護福祉士養成講座編集委員会編『第 13 巻 障害の理解』中央法規出版

【参考文献】

必要時に資料配布

【成績評価方法】

筆記試験 100%

【学生へのメッセージ】

「障害」を社会生活・環境との関わりでとらえよう。